

会員の皆様 新年おめでとうございます
ご家族おそろいで健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます



題字は松井岳洋筆

会長 加藤 岳 洵

今年の運営課題としては、昨年10月に顧問相談役を交えた常任理事会で承認を頂きました「正副会長による各教場の巡回講習」「会員増強のための各教場部門の新設」「会員のユニフォームの製作」更には「毎月の指導者講習会の内容の再検討と韻読詠法の研鑽の継続的な実施」等であります。

これらの実行に当たっては、会員皆様の意見を踏まえ具体的な計画を策定し実施したいと考えています。

また、来年は碩心会創立七十周年を迎えますが、意義ある記念大会を目指し70年の節目に相応しい充実した内容にすべく昨年10月に準備委員会を設置し、各部門担当の正・副委員を決め、更に大会のメインとなる構成吟の企画には、内山岳青副会長を責任者として



老練、新進を交え9名のメンバーで、昨年より2回の委員会を開き真剣な討議を行ないました。斬新な提言があり期待される所です。

一方、70年の歴史を記録に残したいとの意見が盛り上がり松井岳堂副会長を責任者として、昨年70周年記念誌編集委員会を立ち上げ10回の編集会議を重ねました。特に70年の回想の草稿をお願いいたしました加藤岳相先生、千葉岳

関先生、中村岳郵先生と年表による70年の軌跡の草稿をご担当頂きました村田岳滯先生には殊の外多大なご苦勞をお掛けいたしましたことに対し、深く感謝申し上げますとともに、引き続きご尽力をお願いいたします。

本年も会員の皆様とともに、課題の解決に努力いたしたいと存じますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



No.375

平成18年1月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会認可

神奈川 碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 磯村岳嗣

神奈川県葉山町堀内206

Tel/Fax.046-875-3723

行事予定

○碩心会春季審査会

日時・3月18日(土) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館 大会議室

○碩心会総会

日時・6月10日(土)

場所・逗子文化プラザ会議室

○碩心会温習会

日時・6月18日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館ホール

○碩心会夏季吟道講座

日時・7月23日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館 大会議室

○碩心会秋季審査会

日時・9月17日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館 大会議室

○碩心会皆伝会吟の集い

日時・10月15日(日) 9時受付

場所・葉山町福祉文化会館 大会議室

○碩心会地区温習会

日時・12月3日(日)

場所・未定



副会長
松井 岳 篁

個人的なことですが、昨年は総本部主催の夏季吟道講座講師を担当させて頂きました。九段会館の基礎講座に始まり、名古屋、盛岡講座と努めてまいりました。まだ2月の札幌講座が残っていますが頑張つて役目を終わらせる決意でいます。

今迄、各地を廻りながら感じたことは、どの会場も受講者の態度が良く私語もなく一生懸命に講座を受けていたことです。講師の一言一言にうなずき総てを吸収しようという意気込みがうかがえ、講師にやる気を起こさせてくれました。また、私自身碩心会で長年勉強してきたことに間違いがなかったことを感じ、今後碩心会で皆さんと勉強するうえで大変自信を持つことが出来、大きな収穫となりました。

さて、碩心会も昭和12年に松井岳洋先生が創立され来年が七十周年記念となります。担当役員は昨年からの準備に追われており、その準備期間もあと一年余りとなりました。我が碩心会は全国的に歴史のある会です。是非加藤岳洵会長のもと創立七十周年記念吟道大会を成功させたいものです。会員皆様のご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせて頂きます。



副会長
内山 岳 青

碩心会は1年後の平成19年に創立70周年を迎えます。岳風会の中でも有数の歴史がある会であり、毎年行われる各種行事や周年行事については、先輩の方々が築き上げてこられたやり方があります。

私達としては、先ず従来のやり方を学び尊重することが大切ではありますが、ややもすると過去の例をそのまま踏襲すれば良しとなっていないか、折りに触れて考えていかなければならないと考えます。

70周年記念大会では、碩心会にふさわしい構成吟がプログラムの中心になると思われ、それに備えるため昨年、正副会長を含め11名から成る「構成吟企画係」が編成され、どのような内容のどのようなスタイルの構成吟にするか、現在鋭意検討を重ねております。

このメンバーからは斬新なアイデアや活発な意見が続出しており、今後具体的な案をまとめるに当たってはその貴重な意見をできるだけ生かしていきたいと思っております。

創立70周年行事に限らず、碩心会が会としての活力を維持し、より充実した活動を続けるために、会員の一人ひとりが常にその時代にマッチした方法を求めて、少しでも良い方向に変えていくという努力をしようではあり

ませんか。

今年も又、趣味である詩吟を糧にお互い、健康で楽しい1年を過ごしたいと思います。

出吟者募集

第11回神奈川県本部年齢別吟詠大会

出吟資格・65才以上の方。但し総伝は除く。

日 時・5月27・28日 9時～17時

場 所・地球市民かながわプラザ・ホール

出吟料・2000円

課題吟

〔和歌の部〕朗詠集

1 桜の花の散るをよめる (P 28)

2 武蔵の野邊 (P 60)

3 富士 (P 64)

4 ふるさとの山 (P 70)

5 酒 (P 86)

〔漢詩の部〕和漢名詩の吟じ方第1巻

1 九月十三夜 (P 20)

2 将に東遊せんとして壁に題す (P 39)

3 客舎の壁に題す (P 51)

4 涼州詞 (P 94)

5 風橋夜泊 (P 103)

〔連吟の部〕

1 天草洋に泊す (1-P 66)

2 笛を聞く (4-P 27)

3 鳥夜啼 (5-P 105)

締切・2月12日までに総務松井岳篁へ

TEL 046-856-9232



堀内各支部合同の大会吟



初春を寿ぐ祝舞 (白井岳庵)



めでたさを舞う (一之瀬 岳保)

今年も楽しく初吟会

平成18年1月15日葉山町福祉文化会館にて碩心会初吟会が盛大に開催されました。定刻の10時、内山副会長の開会宣言と加藤会長の年頭挨拶に続き、恒例の「碩心会の詩」の大会吟で厳かに開幕いたしました。各支部の合吟に続き、指導者・来賓・役員吟詠と進み、華麗な祝舞で締めました。場所を移しての懇親会は一転、食事と賑やかな談笑で会場いっぱい新春の明るさが溢れ、会員有志による余興の出し物は今年も笑いあり踊りありの楽しいものばかりで、碩心会員のタレント性を大いに発揮しました。ファイナルは「星影のワルツ」で閉じました。



さんさ祝歌 (高橋之岳)



かわいい乙女達のフォークダンス (眞澄)



乙姫さまの美しさ (堀内E)



粹な兄貴さんのかつぼれ (滝の坂)



賑やかな仮装でズンドコ (渚)

初吟会参加者数：144名
世話役部署：総括：企画部
懇親会：堀内支部



碩心会随一の麗人(?)



おじさんの時計はチックタックチックタック (悠吟)

昇伝認許

(平成18年1月1日付)

総伝 5名

- 16 菊池岳悠
- 52 伊藤岳光
- 54 加藤岳美
- 51 星野岳輝
- 53 西岡岳清

おめでとうございます



総伝を載いて

真澄 星野 岳輝

村田先生のもとで詩吟を学び始めて二十七年、雲の上の位のように思えた総伝を、この度戴く事になり感慨深いものがあります。

振り返ると義母を看取り夫を送り、二人の子供も独立しました。遙くも永い年月です。楽しかった時も悲しかった時も、詩吟と共に在りました。特に辛い時先生を始め吟友から有形無形の優しさと励ましをいただいた事は、忘れる事が出来ません。合吟コンクールにも度々出させていたゞき、全国大会第三位に二度輝いた時も、参加させていたゞきました。感激の想い出です。

未だ自分の吟には課題を感じていますが、歳を重ねると共に詩情をより深く味える様になりました。

今後一層私なりに吟道の精進に努めてまいり度いと存じます。

全国吟道大会が横浜で開催

日本詩吟学院岳風会主催の第116回全国吟道大会が、11月27日(日)神奈川県立県民ホールで盛大に開催された。幸い好天に恵まれ、日本大通りの銀杏並木は今を盛りの黄葉に陽光を浴びて輝いた。

先ず、大ホール満席の会員が静まる中、厳かに開会式が執り行われた。国歌斉唱、朗詠の大合吟、前回は賞杯の返還と続き、平吹岳導大会会長による御製謹詠が終わると、全国各地の代表者独吟により大会が開始された。続いて全国各地から参集した支部会員の大合吟が舞台いっぱいになりと登場し、その出場準備の人々が屋外の広場まで溢れる盛況で、会場内外とも熱気に包まれた。

昼食後のアトラクションは、横浜中華学院生徒による「夜行龍」踊りが賑やかに繰り広げられ遠来の会員から盛んな拍手を浴びた。午後トップの会旗入場で100本余りの会旗が舞台狭しと集結する様は圧巻であり、続く式典を一層盛り上げた。続く優秀吟者詠吟では5名の全国優秀吟者入賞者が素晴らしい吟詠を披露され、場内を一瞬うっとりさせた。22組による10名合吟のコンクールに続き地元で題した構成吟「鎌倉懐古」では大会は最高潮に達し、余韻を残して閉幕した。

平成18年(碩心会初吟会)収支決算書	
日時	平成18年1月15日(日)
会場	葉山町福祉文化会館
(収入)	
前期繰越金	17,742
ご祝儀	30,000 鹿嶋岳久 日井岳秀 海老澤岳聰 新総伝15名より
参加費	564,000 141名×4,000円
合計	611,742
(支出)	
料理	456,000 お弁当 144名×2,000円 オードブル、ケーキ、 コーヒー他
飲み物	48,593 酒、ビール、ウーロン茶
会場使用料	45,550 ホール、大会議室
お車代	6,000 来賓者3名
保険	4,410 傷害保険
お札	2,000 上村岳章(看板)
事務、通信費	7,470 事務用消耗品
会議費	11,576 担当支部企画部準備
次期繰越	30,143 企画部預かり
合計	611,742

葉山地区温習会開催

年の瀬も迫った12月10日(土)恒例の吟道温習会が碩心会葉山地区の主管で開催された。

定刻10時の沼田東岳副地区長の開会宣言のあと、和やかな雰囲気の中会員吟詠に入り、馴染みの顔が続々と舞台に登場した。地区規模のため割り当て吟数に余裕があり、各支部共自信に満ちた独吟が多くその日頃の研修成果を披露した。

昼食前、秋季許証授与式が執り行われ50名の会員が昇伝許可を授与された。午後、少年少女吟詠で可愛い3名の朗々たる声を聞いて、続く立体吟詠では詩舞の美しさに会場は一層の拍手に包まれた。役員吟詠での堂々たる吟声も滞りなく終わり、全員会発展を祈念した万歳で閉会した。

滝の坂 30周年記念 吟の集い



支部長 加藤 岳 溪
昭和五十年、佐久間溪風先生のお宅で誕生
した滝の坂支部も、今年無事三十周年を迎え
ました。十二月十一日、加藤岳洵会長先生を

はじめ、沢山の理事の先生方の出席をいただき、「吟の集い」と記念式典を横須賀のセントラルホテルで行いました。

入会当時、詩吟について何もわからなかった私達でしたが、練習日には当時の根岸会長先生や、先輩の方々がしばしば来て下さり、私達の練習に参加して下さいました。初めての私は、碩心会の暖かい横のつながりを感じました。この良い関係は今も続いており、今回の三十周年の会でもその暖かさを改めて感じた次第です。

この碩心会の素晴らしい伝統を守り、これからも碩心会の発展の為に、私達滝の坂支部一同微力ながら頑張ろうと力を尽すつもりです。これからもよろしくお願ひします。



去る十二月十一日（日）滝の坂支部の創立記念式典を含めた吟の集いが催されました。

本支部は昭和五十年に誕生し、平成十四年には、分室として蒲田教場が開設されました。

今回の集いは、第一部から第六部までで構成され、第一部の「会員吟詠」では滝の坂支部の歩みを構成吟として全員で吟じました。

第二部「招待者吟詠」、第三部「指導者吟詠」は、入会二年余りの私にとって、これぞ詩吟の真髄と感動させられました。

第四部の記念式典は厳粛の中で執り行われ、お話の中で、吟を志す者としての心構えや支部の一層の発展を願うお言葉が強く心に残りました。

第五部は、華麗な祝舞があり、第六部は、それまでの雰囲気とはガラリと変わり、和やかな懇親会で参加者の親交を深めることができました。



今井重泉

高井道岳

詩吟教室の始まりは、3〜5人位であったと思います。先生のお宅の二階で午後2時頃から行いました。

先生は「小腹が空いたでしょう」と言っていて、寒いなどは温かい物を用意して来て待っていてくれました。それに釣られて少しずつ勉強していくようになりました。その後、教室の人数も20名を超えて三つの教室を超える矢嶋教室になりました。先生の集人力、人を惹き付ける人徳は並みではなかったと思っています。

矢嶋佳岳

じつと目を閉じ、矢嶋先生と詩吟との出会いをしみじみと思い出しました言葉に出ません。

先生がお元気で活躍のお姿がありありと目に見えるようです。私の人生の約半分を吟に投じ、様々な行事に参加させて頂きました。ありがとうございます。

池田敏岳

「詩吟を始めませんか」と矢嶋先生に声をかけられ、最初は3名で始めた教室でした。詩吟の詩の字も分からないまま、いつも先生に心配をおかけしました。その内、初めて

矢嶋岳悦先生を悼む

堀内E

の審査になり、前の日迄全然できずしまいで会場に行つてから何回も指導され、何とか受けられた事を覚えております。

平成17年8月末に、先生が再入院されてからは、森戸神社に日参しご回復を祈願しましたが空しく天国へ旅立っていかれました。

何をしても唯々残念でたまらず涙が止まりません……。先生！F班を見守って下さい。そして長い間ありがとうございます。

大西雄風

矢嶋教室の門を叩いたのは平成7年4月でした。入門の動機は、前年妻を亡くしご近所の知人も少なく「地域の人々との交流を」と思ったからです。

日頃先生は、独り者を氣遣つてか、教室の帰りに「チョッと待ちなさい」と言つて煮物など色々な物を持たせてくれたものです。

授業中は大変でした。地方出身の私には発音がうまくいきません。音読でダメ、吟詠でダメが連続します。何回も何回も繰返して教えられました。

先生は優しい面と厳しい面を使い分けた人で、そして「吟を命」と感じさせる方でありました。ご冥福をお祈りいたします。

会員移動

- 退会
- 2 矢嶋岳悦 (11月28日死亡)
- 24 岩崎岳恵
- 115 石川響岳
- 152 渡辺信風
- 202 元泉誠風 (12月9日死亡)

編集後記

今年は大雪のニュースから始まりましたが、私は本年も「明るく、楽しく、元気よく」で出発です。(磯村) 慣れない編集も今年で4年目。いよいよ卒業間近となり、有終の美が飾れるよう頑張ります。(嶋津)

幸い優秀な印刷所に恵まれ、パソコン活用で何とか誌面が見やすくなりました。写真を多くして楽しい紙面が目標です。(山本)

体調を崩して全力投球ができませんが、得意の分野で適時力を発揮し本誌を盛り立てています。(角田)

(註) 誌面の都合で今月号は「私の雅号の由来」を休みました。 広報部

18年	1月	現在	会員数
葉山	地区	地区	155名
逗子・大船	地区	地区	118名
合計			273名